

戸塚一中だより

新宿区立戸塚第一中学校

3205-9672

スキー教室行われる - 全員滑れるようになり -



2月22日(日)から25日(水)まで、2年生はスキー移動教室に女神湖学園に行ってきました。スキーの講習は、1日目2時間、2、3日目各4時間半の計11時間予定されていました。1日目は途中から雨になり、1時間20分で終了。3日目に40分延長し、予定通りの

総合的な学習の時間 - 生徒発表会 -



12組の人たちによる発表がありましたが、予定よりだいぶ長くなってしまった3時間半という時間が長いようで、短くも感じた発表会になりました。

今回の発表形式は、パワーポイントを使っての発表、投影機を使ってのもの、パネルに模造紙で書いたものをビデオカ

講習を終了しました。

天気は、1日目、曇りのち雨。2日目、曇りのち雪時々晴れ。3日目晴れ。日が経つにつれ良くなり、生徒はめきめきと腕を上げ、最終日には全員が上から滑れるようになりました。ほとんどの生徒が「もっとやりたい」というところで終了になりましたが、怪我や、病気もなく無事帰ってきました。

指導に当たったインストラクターからは、「素直な生徒さんが多く、上達も早かった」という感想が語られていました。

今回のスキー教室の様子は、試験的にその日ごとの写真を携帯電話で送り、すぐに戸塚一中のホームページに掲載するという試みを行い、ご覧いただいた方も多かったと思います。

メラで中継し、スクリーンに同時に映しながらの発表など、工夫に富んだものが多かったようです。特にパワーポイントを使っての発表は、年々技術が向上しているように感じました。



12組の発表後、保護者で情報ボランティア部の指導に当たってこられた井口成人さんに講評・講演をしていただきました。井口さんは、「今日の発表はみな素晴らしいものばかりで、たいへん勉強になりました。技術的にも優れたものが多く、聞くものに興味を引かすように組み立てられている工夫も目立ちました。」と発表する上での心掛けやテクニックにも触れ、わかりやすく説明し、講評してくれました。

また、「表現することは人間として大事なことで、これからも相手に伝えるため

3年生講演会 - イラク戦争をめぐって -

3年生のこれからの進路に向けて11日、産経新聞外信部記者岩田智雄氏を招いてイラク情勢や世界でいま起きている問題について現場の取材を通して、報道の裏側にあるものや、新聞記事がどのようにできるのかなどについて講演をしていただきました。



講演は、はじめにこの12月から2月にかけてイラクに取材に行ったときに撮ったビデオを放映しながら、現地のように、取材活動などについて説明し、こういう危険な場所では「自分の命は自分で守らなければ、誰も守ってくれない」と自己の責任について触れ、イラクの取材にあたっては細心の注意を払っている



の工夫をしていってください。」とお話くださり、生徒にとっても心に残る講演をしてくださいました。

ことを強調されていました。また、「大胆にして細心」であることが記者には必要で、そのどちらかがかけてもよくないと述べられました。

さらに、特にイラク戦争では、「この戦争はすべきだったのかどうか、日本の自衛隊は支援にいくべきだったかどうかについていろいろな見方がある」とし、「物事はいろいろな角度で見るのが大切」であることを強調していました。

講演後の質問応答では、「どうして、新聞記者になったのですか」「記者として、うれしいこと、悲しいことは何ですか」などの質問に、「相手の方の気持ちになって記事が書け、喜んでいただいたときが一番嬉しい」などと丁寧に答えてくれました。なかには「岩田さんはイラク戦争はすべきだったと思いますか」「もしも、アメリカと、イラクのどちらかをとるとしたら、岩田さんはどちらをとりますか」などというきわどい質問もありましたが、一つ一つに、どうしてそう思うのかなどの理由を語りながら、誠実に答えている姿が印象的でした。3年生にとって、思い出に残る講演会になりました。

